

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大原ビジネス公務員専門学校岡山校
設置者名	学校法人大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	ビジネス学科	夜・通信	720 時間	160 時間	
	医療事務学科	夜・通信	450 時間	160 時間	
文化教養 専門課程	法律行政学科 (2年制)	夜・通信	170 時間	160 時間	
	法律行政学科 (1年制)	夜・通信	140 時間	80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大原ビジネス公務員専門学校岡山校
設置者名	学校法人大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表

https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	現職：司法書士事務所 所長	2019. 4. 1～ 2023. 3. 31	法人運営における 法務的な検証、管理
非常勤	現職：Web デザイン・ システム開発・印刷関 連企業代表	2019. 4. 1～ 2023. 3. 31	学生募集、教材開発 への助言
非常勤	前職：不動産関連企業 代表	2019. 4. 1～ 2023. 3. 31	校舎等学習環境の 整備への助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大原ビジネス公務員専門学校岡山校
設置者名	学校法人大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>以下の事項について、毎年12月に全教員による改善等を検討する会議を実施し、決定した内容を授業計画書に記載する。</p> <p>(1) 授業の基本情報(授業科目、実務家教員授業、学科、履修年次、科目区分、授業方法、授業時間/単位、授業コマ数)</p> <p>(2) 授業概要</p> <p>(3) 授業の進め方</p> <p>(4) 達成目標</p> <p>(5) 教科書</p> <p>(6) 授業計画</p> <p>(7) 成績評価方法</p> <p>授業計画書の作成・公表時期に関しては、上記会議を経て1月頃に作成を開始し、3月下旬頃にホームページにて公表する。</p>																						
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表</p> <p>https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</p>																					
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>(1) 学業成績</p> <p>学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等に加えて、出席状況等の学習姿勢も考慮して評価する。</p> <p>(2) 学業成績の判定</p> <p>学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とし、秀、優、良、可は合格、不可は不合格とする。</p> <p>学業成績の判定及び評価、成績証明書の表記は、下記の表のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="339 1480 1195 1778"> <thead> <tr> <th>判定</th> <th>評価点</th> <th>成績評価</th> <th>成績証明書表記</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">合格</td> <td>100点～90点</td> <td>秀</td> <td>秀</td> </tr> <tr> <td>89点～80点</td> <td>優</td> <td>優</td> </tr> <tr> <td>79点～70点</td> <td>良</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>69点～60点</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>不合格</td> <td>60点未満</td> <td>不可</td> <td>非表示</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 単位の授与</p> <p>授業科目を履修し、各科目の成績を判定のうえ、秀、優、良、可を取得した者には所定の単位を与える。</p> <p>(4) 学生への明示</p> <p>学業成績及び学業成績の判定については、学則に記載し、オリエンテーション等で学生に明示する。</p>		判定	評価点	成績評価	成績証明書表記	合格	100点～90点	秀	秀	89点～80点	優	優	79点～70点	良	良	69点～60点	可	可	不合格	60点未満	不可	非表示
判定	評価点	成績評価	成績証明書表記																			
合格	100点～90点	秀	秀																			
	89点～80点	優	優																			
	79点～70点	良	良																			
	69点～60点	可	可																			
不合格	60点未満	不可	非表示																			

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

(1) 指標

成績評価における客観的な指数として、GPA (Grade Point Average) を用いる。

(2) 成績評価と GP

授業科目の成績は、下記の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下記の表のとおり GP (Grade Point) を与える。

成績評価	GP	評価点	備考
秀	4	100点～90点	
優	3	89点～80点	
良	2	79点～70点	
可	1	69点～60点	
不可	0	60点未満	
認定	—	—	対象外

(3) GPA 算出方法

$$\text{GPA} = \frac{\text{(科目の単位数} \times \text{当該科目で付与された GP) の合計}}{\text{履修科目の単位数の合計}}$$

※小数点第2位を四捨五入する

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページにて公表
<https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定は、下記の表のとおり学科ごとに規定する修業年限以上在学し、学科ごとに定める授業時間数以上履修し、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を修得し、最終学年の終わりに実施する卒業判定委員会において、卒業審査に合格した者について校長が行う。

学科	修業年限	授業時間数	単位数
ビジネス学科	2年	1,700時間以上	62単位以上
医療事務学科	2年	1,700時間以上	62単位以上
法律行政学科 (2年制)	2年	1,700時間以上	62単位以上
法律行政学科 (1年制)	1年	800時間以上	30単位以上

※各学科の修業年限の2倍を超えて在籍することはできない。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページにて公表
<https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大原ビジネス公務員専門学校岡山校
設置者名	学校法人大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/financial-overview.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/financial-overview.pdf
財産目録	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/financial-overview.pdf
事業報告書	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/financial-overview.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/financial-overview.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

(A) ビジネス学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		専門課程	ビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 単位時間 62/単位	7,755 単位時間 264/単位	6,877 単位時間 237/単位	1,758 単位時間 59/単位	0 単位時間 0/単位	0 単位時間 0/単位
			16,390 単位時間/560 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		71人	0人	5人	1人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

以下の事項について、毎年12月に全教員による改善等を検討する会議を実施し、決定した内容を授業計画書に記載する。

- (1) 授業の基本情報（授業科目、実務家教員授業、学科、履修年次、科目区分、授業方法、授業時間/単位、授業コマ数）
- (2) 授業概要
- (3) 授業の進め方
- (4) 達成目標
- (5) 教科書
- (6) 授業計画
- (7) 成績評価方法

授業計画書の作成・公表時期に関しては、上記会議を経て1月頃に作成を開始し、3月下旬頃にホームページにて公表する。

成績評価の基準・方法

（概要）

- (1) 学業成績
学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等に加えて、出席状況等の学習姿勢も考慮して評価する。
- (2) 学業成績の判定
学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とし、秀、優、良、可は合格、不可は不合格とする。

学業成績の判定及び評価、成績証明書の表記は、下記の表のとおりとする。

判定	評価点	成績評価	成績証明書表記
合格	100点～90点	秀	秀
	89点～80点	優	優
	79点～70点	良	良
	69点～60点	可	可
不合格	60点未満	不可	非表示

(3) 単位の授与

授業科目を履修し、各科目の成績を判定のうえ、秀、優、良、可を取得した者には所定の単位を与える。

(4) 学生への明示

学業成績及び学業成績の判定については、学則に記載し、オリエンテーション等で学生に明示する。

卒業・進級の認定基準

(概要)

(1) 卒業の認定は、下記の表のとおり学科に規定する修業年限以上在学し、学科に定める授業時間数以上履修し、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を修得し、最終学年の終わりに実施する卒業判定委員会において、卒業審査に合格した者について校長が行う。

修業年限	授業時間数	単位数
2年	1,700時間以上	62単位以上

※修業年限の2倍を超えて在籍することはできない。

(2) 進級の認定は、下記の表のとおり学科の1年次において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、2月に実施する進級判定委員会にて審査を行う。

年次	授業時間数	単位数	備考
1年	800時間以上	30単位以上	出席状況等の学習姿勢も考慮

学修支援等

(概要)

- 分野に精通した専門家を講師に配置し、希望資格の取得及び希望試験に合格させ、かつ即戦力として活躍できる専門知識を修得させる。
- 全国展開の学校で、各地域の公務員試験の情報の獲得や求人票の閲覧ができる。
- クラス担任制をとり、保護者に成績、学習態度、出席状況等の報告を適宜行い、保護者と一体となって学生を育てる。
- 最新の設備を備えた校舎で、快適な学びの空間を提供する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

※2020年度開校のため、実績なし

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(主な就職、業界等)

※2020年度開校のため、実績なし

(就職指導内容)

1、キャリア教育

学生一人ひとりの「幸せな就職」をテーマに、就職後に即戦力として活躍できるためのキャリア教育をカリキュラムに取り入れ、下記の内容を実践する。

<p>(1) 入学時：就職ガイダンス（将来の目標確認）</p> <p>(2) 1年次前期：就職の心構え、自己分析①、SPIP-3 対策テスト</p> <p>(3) 1年次中期：自己分析②、自己PR作成、面接練習、業界研修・企業研究①</p> <p>(4) 1年次後期：学内での企業セミナー、業界研修・企業研究②</p> <p>(5) 2年次前期：就職求人紹介</p> <p>(6) 2年次後期：P-C-P（プレ・キャリア・プログラム）教育 等</p> <p>2、インターンシップ 実践的なカリキュラム編成を行っており、インターンシップを行う。</p> <p>(1) 経理実務（30時間）：税理士事務所 等</p> <p>3、学生支援 多くの企業と連携して学内で以下のセミナー等を開催する。また、担任が就職準備から活動までの様々なサポートを行う。</p> <p>(1) 量販店担当者によるスーツセミナー</p> <p>(2) 採用担当者による企業セミナー</p> <p>(3) 採用担当者による採用説明会や就職試験</p> <p>(4) 担任による自己分析面談、自己PR作成支援、志望企業研究支援 等</p>																				
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <table border="0"> <tr> <td>日本商工会議所簿記検定1級</td> <td>合格者2名/受験者2名</td> </tr> <tr> <td>全国経理教育協会簿記能力検定1級</td> <td>合格者1名/受験者1名</td> </tr> <tr> <td>日本商工会議所簿記検定2級</td> <td>合格者13名/受験者13名</td> </tr> <tr> <td>日本電卓技能検定速士3段・4段</td> <td>合格者3名/受験者10名</td> </tr> <tr> <td>日本電卓技能検定正士2段・初段</td> <td>合格者13名/受験者23名</td> </tr> <tr> <td>日本電卓技能検定1・2級</td> <td>合格者31名/受験者50名</td> </tr> <tr> <td>日本電卓技能検定3・4級</td> <td>合格者14名/受験者15名</td> </tr> <tr> <td>日本ビジネス技能検定漢字2級</td> <td>合格者25名/受験者28名</td> </tr> <tr> <td>日本ビジネス技能検定簿記1級</td> <td>合格者21名/受験者24名</td> </tr> <tr> <td>日本ビジネス技能検定簿記2級</td> <td>合格者11名/受験者11名</td> </tr> </table> <p>(備考)（任意記載事項）</p>	日本商工会議所簿記検定1級	合格者2名/受験者2名	全国経理教育協会簿記能力検定1級	合格者1名/受験者1名	日本商工会議所簿記検定2級	合格者13名/受験者13名	日本電卓技能検定速士3段・4段	合格者3名/受験者10名	日本電卓技能検定正士2段・初段	合格者13名/受験者23名	日本電卓技能検定1・2級	合格者31名/受験者50名	日本電卓技能検定3・4級	合格者14名/受験者15名	日本ビジネス技能検定漢字2級	合格者25名/受験者28名	日本ビジネス技能検定簿記1級	合格者21名/受験者24名	日本ビジネス技能検定簿記2級	合格者11名/受験者11名
日本商工会議所簿記検定1級	合格者2名/受験者2名																			
全国経理教育協会簿記能力検定1級	合格者1名/受験者1名																			
日本商工会議所簿記検定2級	合格者13名/受験者13名																			
日本電卓技能検定速士3段・4段	合格者3名/受験者10名																			
日本電卓技能検定正士2段・初段	合格者13名/受験者23名																			
日本電卓技能検定1・2級	合格者31名/受験者50名																			
日本電卓技能検定3・4級	合格者14名/受験者15名																			
日本ビジネス技能検定漢字2級	合格者25名/受験者28名																			
日本ビジネス技能検定簿記1級	合格者21名/受験者24名																			
日本ビジネス技能検定簿記2級	合格者11名/受験者11名																			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35人	5人	14.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振、経済的理由など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止の取組として、担任による定期面談及び学生のシグナルを感じ取った際に担任・管理職による随時面談を実施する。		

(B) 医療事務学科

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務分野	専門課程	医療事務学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 単位時間 /62 単位	1,879 単位時間 66/単位	1,945 単位時間 72/単位	600 単位時間 20/単位	0 単位時間 0/単位	0 単位時間 0/単位
			4,424 単位時間 / 158 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	24人	0人	5人	1人	6人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

以下の事項について、毎年 12 月に全教員による改善等を検討する会議を実施し、決定した内容を授業計画書に記載する。

- (1) 授業の基本情報（授業科目、実務家教員授業、学科、履修年次、科目区分、授業方法、授業時間/単位、授業コマ数）
- (2) 授業概要
- (3) 授業の進め方
- (4) 達成目標
- (5) 教科書
- (6) 授業計画
- (7) 成績評価方法

授業計画書の作成・公表時期に関しては、上記会議を経て 1 月頃に作成を開始し、3 月下旬頃にホームページにて公表する。

成績評価の基準・方法

（概要）

(1) 学業成績

学業成績は、授業科目毎に行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等に加えて、出席状況等の学習姿勢も考慮して評価する。

(2) 学業成績の判定

学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の 5 種をもってこれを表し、秀は 90 点以上、優は 80 点以上、良は 70 点以上、可は 60 点以上、不可は 60 点未満とし、秀、優、良、可は合格、不可は不合格とする。

学業成績の判定及び評価、成績証明書の表記は、下記の表のとおりとする。

判定	評価点	成績評価	成績証明書表記
合格	100 点～90 点	秀	秀
	89 点～80 点	優	優
	79 点～70 点	良	良
	69 点～60 点	可	可
不合格	60 点未満	不可	非表示

(3) 単位の授与

授業科目を履修し、各科目の成績を判定のうえ、秀、優、良、可を取得した者には所定の単位を与える。

(4) 学生への明示

学業成績及び学業成績の判定については、学則に記載し、オリエンテーション等で学生に明示する。

卒業・進級の認定基準

（概要）

- (1) 卒業の認定は、下記の表のとおり学科に規定する修業年限以上在学し、学科に定める授業時間数以上履修し、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を修得し、最終学年の終わりに実施する卒業判定委員会において、卒業審査に合格した者について校長が行う。

修業年限	授業時間数	単位数
2 年	1,700 時間以上	62 単位以上

※修業年限の 2 倍を超えて在籍することはできない。

- (2) 進級の認定は、下記の表のとおり学科の 1 年次において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、2 月に実施する進級判定委員会にて審査を行う。

年次	授業時間数	単位数	備考
1 年	800 時間以上	30 単位以上	出席状況等の学習姿勢も考慮

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 分野に精通した専門家を講師に配置し、希望資格の取得及び希望試験に合格させ、かつ即戦力として活躍できる専門知識を修得させる。</p> <p>(2) 全国展開の学校で、各地域の公務員試験の情報の獲得や求人票の閲覧ができる。</p> <p>(3) クラス担任制をとり、保護者に成績、学習態度、出席状況等の報告を適宜行い、保護者と一体となって学生を育てる。</p> <p>(4) 最新の設備を備えた校舎で、快適な学びの空間を提供する。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）
 ※2020年度開校のため、実績なし

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(主な就職、業界等)
 ※2020年度開校のため、実績なし

(就職指導内容)

1、キャリア教育
 学生一人ひとりの「幸せな就職」をテーマに、就職後に即戦力として活躍できるためのキャリア教育をカリキュラムに取り入れ、下記の内容を実践する。

(1) 入学時：就職ガイダンス（将来の目標確認）
 (2) 1年次前期：就職の心構え、自己分析①、SPIP-3 対策テスト
 (3) 1年次中期：自己分析②、自己PR作成、面接練習、業界研修・企業研究①
 (4) 1年次後期：学内企業セミナー、業界研修・企業研究②
 (5) 2年次前期：就職求人紹介
 (6) 2年次後期：P-C-P（プレ・キャリア・プログラム）教育 等

2、実践的なカリキュラム編成
 実践的なカリキュラム編成を行っており、病院での実習授業を行う。

(1) 病院実習（240時間）：岡山赤十字病院ほか 等

3、学生支援
 多くの企業と連携して学内で以下のセミナー等を開催する。また、担任が就職準備から活動までの様々なサポートを行う。

(1) 量販店担当者によるスーツセミナー
 (2) 採用担当者による企業セミナー
 (3) 採用担当者による採用説明会や就職試験
 (4) 担任による自己分析面談、自己PR作成支援、志望企業研究支援 等

(主な学修成果（資格・検定等）)

日本電卓技能検定正士2段・初段	合格者3名/受験者6名
日本電卓技能検定1・2級	合格者7名/受験者9名
日本電卓技能検定3・4級	合格者10名/受験者11名
日本ビジネス技能検定漢字2級	合格者9名/受験者9名
日本ビジネス技能検定医療秘書1級	合格者8名/受験者8名
日本ビジネス技能検定医療秘書2級	合格者9名/受験者9名
日本ビジネス技能検定医療請求1級	合格者8名/受験者8名
日本ビジネス技能検定医療請求2級	合格者9名/受験者9名

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止の取組として、担任による定期面談及び学生のシグナルを感じ取った際に担任・管理職による随時面談を実施する。		

(C) 法律行政学科 (2年制)

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養分野	専門課程	法律行政学科(2年制)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 単位時間 /62 単位	1,760 単位時間 69/単位	2,253 単位時間 85/単位	1,710 単位時間 57/単位	0 単位時間 0/単位	0 単位時間 0/単位
			5,723 単位時間 / 211 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	86人	0人	6人	0人	6人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)														
(概要) 以下の事項について、毎年12月に全教員による改善等を検討する会議を実施し、決定した内容を授業計画書に記載する。 (1) 授業の基本情報 (授業科目、実務家教員授業、学科、履修年次、科目区分、授業方法、授業時間/単位、授業コマ数) (2) 授業概要 (3) 授業の進め方 (4) 達成目標 (5) 教科書 (6) 授業計画 (7) 成績評価方法 授業計画書の作成・公表時期に関しては、上記会議を経て1月頃に作成を開始し、3月下旬頃にホームページにて公表する。														
成績評価の基準・方法														
(概要) (1) 学業成績 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等に加えて、出席状況等の学習姿勢も考慮して評価する。 (2) 学業成績の判定 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とし、秀、優、良、可は合格、不可は不合格とする。 学業成績の判定及び評価、成績証明書の表記は、下記の表のとおりとする。														
<table border="1"> <tr> <td>判定</td> <td>評価点</td> <td>成績評価</td> <td>成績証明書表記</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">合格</td> <td>100点～90点</td> <td>秀</td> <td>秀</td> </tr> <tr> <td>89点～80点</td> <td>優</td> <td>優</td> </tr> <tr> <td>79点～70点</td> <td>良</td> <td>良</td> </tr> </table>	判定	評価点	成績評価	成績証明書表記	合格	100点～90点	秀	秀	89点～80点	優	優	79点～70点	良	良
判定	評価点	成績評価	成績証明書表記											
合格	100点～90点	秀	秀											
	89点～80点	優	優											
	79点～70点	良	良											

	69点～60点	可	可
不合格	60点未満	不可	非表示

(3) 単位の授与

授業科目を履修し、各科目の成績を判定のうえ、秀、優、良、可を取得した者には所定の単位を与える。

(4) 学生への明示

学業成績及び学業成績の判定については、学則に記載し、オリエンテーション等で学生に明示する。

卒業・進級の認定基準

(概要)

(1) 卒業の認定は、下記の表のとおり学科に規定する修業年限以上在学し、学科に定める授業時間数以上履修し、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を修得し、最終学年の終わりに実施する卒業判定委員会において、卒業審査に合格した者について校長が行う。

修業年限	授業時間数	単位数
2年	1,700時間以上	62単位以上

※修業年限の2倍を超えて在籍することはできない。

(2) 進級の認定は、下記の表のとおり学科の1年次において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、2月に実施する進級判定委員会にて審査を行う。

年次	授業時間数	単位数	備考
1年	800時間以上	30単位以上	出席状況等の学習姿勢も考慮

学修支援等

(概要)

(1) 分野に精通した専門家を講師に配置し、希望資格の取得及び希望試験に合格させ、かつ即戦力として活躍できる専門知識を修得させる。

(2) 全国展開の学校で、各地域の公務員試験の情報の獲得や求人票の閲覧ができる。

(3) クラス担任制をとり、保護者に成績、学習態度、出席状況等の報告を適宜行い、保護者と一体となって学生を育てる。

(4) 最新の設備を備えた校舎で、快適な学びの空間を提供する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

※2020年度開校のため、実績なし

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(主な就職、業界等)

※2020年度開校のため、実績なし

(就職指導内容)

1、キャリア教育

学生一人ひとりの「幸せな就職」をテーマに、任用後に即戦力として活躍できるためのキャリア教育をカリキュラムに取り入れ、下記の内容を実践する。

(1) 入学時：就職ガイダンス（将来の目標確認）

(2) 1年次前期：公務員の心構え、自己分析①、SPIP-3対策テスト

(3) 1年次中期：自己分析②、自己PR作成、面接練習、官公庁研究①

(4) 1年次後期：学内での官公庁セミナー、官公庁研究②、試験情報の提供①

(5) 2年次前期：試験情報の提供②

(6) 2年次後期：P-C-P（プレ・キャリア・プログラム）教育 等

2、学生支援	
企業や官公庁と連携して学内で以下のセミナー等を開催する。また、担任が合格までの様々なサポートを行う。	
(1) 量販店担当者によるスーツセミナー	
(2) 採用担当者による官公庁セミナー	
(3) 採用担当者による試験説明会	
(4) 担任による自己分析面談、自己PR作成支援、官公庁研究支援 等	
(主な学修成果(資格・検定等))	
日本電卓技能検定速士3段・4段	合格者1名/受験者5名
日本電卓技能検定正士2段・初段	合格者7名/受験者12名
日本電卓技能検定1・2級	合格者27名/受験者54名
日本電卓技能検定3・4級	合格者34名/受験者47名
日本ビジネス技能検定 漢字1級	合格者26名/受験者35名
日本ビジネス技能検定 漢字2級	合格者36名/受験者41名
日本ビジネス技能検定 一般教養1級	合格者28名/受験者37名
日本ビジネス技能検定 一般教養2級	合格者28名/受験者37名
(備考) (任意記載事項)	

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38人	4人	10.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振、経済的理由等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止の取組として、担任による定期面談及び学生のシグナルを感じ取った際に担任・管理職による随時面談を実施する。		

(D) 法律行政学科 (1年制)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養分野		専門課程	法律行政学科(1年制)				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	800 単位時間 /30 単位	349 単位時間 15/単位	1,033 単位時間 41/単位	240 単位時間 8/単位	0 単位時間 0/単位	0 単位時間 0/単位
			1,622 単位時間/64 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40		13人	0人	6人	0人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
以下の事項について、毎年12月に全教員による改善等を検討する会議を実施し、決定した内容を授業計画書に記載する。
(1) 授業の基本情報 (授業科目、実務家教員授業、学科、履修年次、科目区分、授業方法、授業時間/単位、授業コマ数)
(2) 授業概要
(3) 授業の進め方
(4) 達成目標
(5) 教科書

(6) 授業計画 (7) 成績評価方法 授業計画書の作成・公表時期に関しては、上記会議を経て1月頃に作成を開始し、3月下旬頃にホームページにて公表する。			
成績評価の基準・方法			
(概要)			
(1) 学業成績 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等に加えて、出席状況等の学習姿勢も考慮して評価する。			
(2) 学業成績の判定 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とし、秀、優、良、可は合格、不可は不合格とする。 学業成績の判定及び評価、成績証明書の表記は、下記の表のとおりとする。			
	判定	評価点	成績評価
	合格	100点～90点	秀
		89点～80点	優
		79点～70点	良
		69点～60点	可
	不合格	60点未満	不可
			成績証明書表記
			秀
			優
			良
			可
			非表示
(3) 単位の授与 授業科目を履修し、各科目の成績を判定のうえ、秀、優、良、可を取得した者には所定の単位を与える。 学業成績及び学業成績の判定については、学則に記載し、オリエンテーション等で学生に明示する。			
卒業・進級の認定基準			
(概要)			
(1) 卒業の認定は、下記の表のとおり学科に規定する修業年限以上在学し、学科に定める授業時間数以上履修し、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を修得し、学年の終わりに実施する卒業判定委員会において、卒業審査に合格した者について校長が行う。			
	修業年限	授業時間数	単位数
	1年	800時間以上	30単位以上
※修業年限の2倍を超えて在籍することはできない。			
(2) 1年制のため、進級の認定基準はなし。			
学修支援等			
(概要)			
(1) 分野に精通した専門家を講師に配置し、希望資格の取得及び希望試験に合格させ、かつ即戦力として活躍できる専門知識を修得させる。			
(2) 全国展開の学校で、各地域の公務員試験の情報の獲得や求人票の閲覧ができる。			
(3) クラス担任制をとり、保護者に成績、学習態度、出席状況等の報告を適宜行い、保護者と一体となって学生を育てる。			
(4) 最新の設備を備えた校舎で、快適な学びの空間を提供する。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数	その他
4人 (100%)	1人 (25.0%)	3人 (75.0%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 海上保安庁、井原市役所、大阪府警			

<p>(就職指導内容)</p> <p>1、キャリア教育 学生一人ひとりの「幸せな就職」をテーマに、任用後に即戦力として活躍できるためのキャリア教育をカリキュラムに取り入れ、下記の内容を実践する。</p> <p>(1) 入学時：就職ガイダンス（将来の目標確認） (2) 1年次前期：公務員の心構え、自己分析①、SPIP-3 対策テスト、試験情報提供① (3) 1年次中期：自己分析②、自己PR作成、官公庁研究①、試験情報提供② (4) 1年次後期：官公庁研究②、試験情報提供③ 等</p> <p>2、学生支援 企業や官公庁と連携して学内で以下のセミナー等を開催する。また、担任が合格までの様々なサポートを行う。</p> <p>(1) 量販店担当者によるスーツセミナー (2) 採用担当者による官公庁セミナー (3) 採用担当者による試験説明会 (4) 担任による自己分析面談、自己PR作成支援、官公庁研究支援 等</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>公務員試験合格</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>中途退学者なし ※当校の法律行政学科（2年制）に1人編入</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>中退防止の取組として、担任による定期面談及び学生のシグナルを感じ取った際に担任・管理職による随時面談を実施する。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ビジネス学科	200,000 円	680,000 円	360,000 円	その他内訳 (全学科共通) 教材費 (80,000 円) 維持費 (120,000 円) 実習・演習費 (160,000 円)
医療事務学科	200,000 円	680,000 円	360,000 円	
法律行政学科 (2 年制)	200,000 円	680,000 円	360,000 円	
法律行政学科 (1 年制)	200,000 円	680,000 円	360,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
学費支援制度：以下に該当する者に対して、入学金・授業料の全額又は一部免除の実施。 ・特別奨学生試験 (面接又は筆記試験) での成績優秀者 ・本学指定の資格取得者 ・本学指定のクラブ在籍者 ・本学主催のコンクールでの成績優秀者				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
2021 年 8 月初旬頃に公表する。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
当校の教育理念に基づき実践的な教育ができているか、教育を実現するために必要な環境が整っているかにつき、学校関係者評価委員を設置して下記評価項目 (案) から評価する。委員より評価いただき、結果をホームページで公表する。課題の残る評価結果については、管理職主導で改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。		
評価項目 (案)		
(1) 理念・目的・育成人材像	(2) 学校運営	
(3) 教育活動	(4) 学修成果	
(5) 学生支援	(6) 教育環境	
(7) 学生募集	(8) 財務	
(9) 法令等の遵守	(10) 社会・地域貢献	
学校関係者評価の委員		
学校関係者評価を確実に実施し、2021 年度末までにその結果を公表するために委員の選任を行う。		
所属	任期	種別
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
2021 年度末までに評価を確実に公表する。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
ホームページにて公表
https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/